

主な日程

# 2026 京都府知事選挙 春を呼ぶ 府民大集会

日時：3月3日(火) 18時45分から  
場所：ロームシアター京都

# 京都総評

京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第 312 号 (部内資料)

発行所  
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階  
京都地方労働組合総評議会(京都総評)  
電話 075(801)2308 FAX 075(812)4149  
E-mail sohyo@labor.or.jp URL https://www.labor.or.jp/sohyo/  
(発行責任者) 梶川 憲 (編集責任者) 上野 広光

京都労働相談センター

電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

# 京都総評 第99回 臨時大会

# ユニオンパワー ゆにばで賃上げ 仲間を増やし 26春闘旺盛に

1月31日、京都総評臨時大会がラポール京都で開催されました。大会では、26春闘を旺盛にたたかう方針を確認するとともに、府知事選挙勝利に向け、取り組む決意を固めました。



子どもたちが楽しく過ごす保育室の様子

## 2026年春闘 京都総評の要求基準

### 最低規制要求

- 産別・企業内賃金を誰でもどこでも時給1,900円以上、月29万円以上
- すべての職場で最低生計費結果をめざし、産業・職場の実態にみあった最低賃金協定の締結。初任給の引き上げから賃金底上げをはかる。
- パート・非正規労働者の賃金の大幅引き上げと、同一労働同一賃金・均等待遇の実現。

### 賃上げ要求額

- 月額33,000円以上、時間額220円以上

冒頭、梶川憲議長は「労働組合で団結し、要求を前進させ、雇用を守ってきた。このつみ重ねこそがユニオンパワー。仲間を増やし26春闘へ」とあいさつしました。

柳生剛志事務局長からは情勢報告と26春闘方針、海藤巴希子副議長からジェンダー宣言採択から1年のまとめと提案が報告されました。大会では保育体制も整え、女性に参加しやすい条件づくりを進めており、利用者からも好評です。

た。討論では21名の代表員から発言があり、26春闘の取り組みや府知事選挙への決意などが語られました。女性参加率は16・49%で、目標の30%に向け、さらなる参加拡大が課題です。



市立病院事務局前でデモ行進

## 対話と学びあいで 要求実現を

### 京都市職労・市立病院 組合員参加で要求アピール

病院支部は1月28日、起集会を行い、病院当局市職員に準じた賃金改善との団体交渉に臨みましと処遇改善を求め、早朝の団交行動には多くの組合員が参加し、

## 工夫が 創意発想

出勤する職員や市民に対し、物価高騰のもとで医療従事者の処遇改善が急務であることを訴えました。昼休みの決起集会では、病院事務局前に組合員が結集し、「やりがいだけでは限界」「誇りをもてる賃金を」と声をあげ、現場の切実な思いを示しました。交渉では、補正予算の活用や月例給改定について当局から消極的な回答が示されましたが、組合は処遇改善の必要性を強く迫りました。

**合同組織・東レコーテックス支部**  
要求を積み重ね、成果勝ち取る  
東レコーテックス支部では、ここ数年で労働条件の着実な改善を実現してきました。第一に、退職金支給年齢を2025年4月から57歳から60歳へ引き上げ、基礎計算期間の拡大により支給額の増額を実現しました。

**化学一般 全国の仲間と学び交流**  
化学一般は26年春闘をたたかうにあたり、1月31日(土)〜2月1日(日)に大津市にて春闘全国討論集会を開催しました。全国の各地本・地協から88人が集い、「働く者の声をチカラに」26年春闘をたたかう決意を語り、討議確認しました。

- ①メンタルヘルス・ハラメント(予防協約、防止、対策)
- ②賃金/評価制度について(考え方、注意点、たたかい方)
- ③諸要求前進(雇用延長、時短・休日増、人員増)
- ④組織強化・拡大/抗議行動(取り組みと展開)

## TUBUYAKI



(巳年の赤ちゃん還り)

元日の朝は、例年、愛宕山に登って1年間、災厄の間、「火の粉」を浴びないようにと祈願してあります。今年は大みそから年越しで飲みすぎて、早朝に起きられず、手軽に登れる大文字山にシフトしました。わずか466mですが、登るコースによって様々な楽しみがあります。今回は、蹴上から登って山科Bコースというルート経由で山科・毘沙門堂へ降りるコースを選択。途中、大きな林道が整備されていたので、ついそちらへ歩を進めると、1km程歩いて突然行き止まり程歩いて確認する(\*。ヤマップで確認すると直登すると正規ルートに合流できるようなったので、藪と倒木をかき分けること10分、何とか正規ルートに合流することが出来ました。大きな流れ(道)に引き寄せられることなく、正しい羅針盤(ヤマップ)をもって進むことの大切さを、眠眠の餃子とともに噛みしめながら、ビールで心を癒す丙午のスタートでした。

時間は常勤者1852・5時間、シフト勤務者1790・7時間へと改善しました。今後さらなる労働条件の向上に取り組みます。

# 京都府知事選挙候補表明会見



## 京都府知事選挙に藤井伸生さん 立候補表明の記者会見

京都華頂大学名誉教授の藤井伸生さんが京都府知事選挙に立候補することを表明。1月15日に記者会見を行いました。藤井さんは社会保障・社会福祉を専門に研究し、京都保育団体連絡会やつなぐ京都交流広場で運動に関わりながら京都府政について検討してきました。立候補表明にあたって、ケア労働者の厳しい実態に触れ、人員不足の背景



# 京都府知事選

## 藤井伸生さんを府知事に 京都総評推薦決定

1月15日の記者会見で京都府知事選挙に立候補することを表明した藤井伸生さん。広く政党や個人、団体などに支援を呼びかけています。京都総評は1月20日の常任幹事会で藤井伸生さんの推薦を決定しました。

### 「必ず知事選に勝利したい」

京都府知事選に立候補を表明している藤井伸生さんが、京都総評臨時大会であいさつに立ち、労働組合運動への期待と、社会保障・賃上げ政策に対する考えを語りました。藤井さんは、自身が大学教員として長年、社会保障を研究してきた立場から「社会保障の充実が、労働組合運動の奮闘なくして実現しない」と述べ、労働組合の役割の重要性を強調。大学退職

にある低賃金、ジェンダーギャップを指摘しました。物価高対策として京都府の恒常的政策が不十分であること、北陸新幹線京都延伸や軍拡、原発など国の政策に曖昧な姿勢を批判。政策である「私がやりたいこと」には、「くらしの応援、全力投球」としてケア労働者の条件整備支援、賃上げ支援を行うことなどを掲げます。

後は年金者組合にも加入し、運動の先頭に立ちながら高齢者の要求の背景にある社会的課題を学んできました。一方で、組織率の低下や運動の分散によって力を十分に発揮できていない現状にも触れ「労働組合運動の再生と活性化が、社会を前に進める大きな力になる」と期待を寄せました。

また、社会保障の前進には労働組合だけでなく、自治体トップの姿勢が決定的に重要だと指摘。京都府知事としてのスタンスが、府民の暮らしや働き方に大きな影響を与えること述べました。京都経済の現状については「京都の企業の99%が中小企業であり、地域を支えているのは中小企業だ」とし、最低賃金の引き上げと同時に、賃上げを可能にするための府の直接支援の必要性を強調。他府県で実施されている賃上げ支援策や、公契約条例の意義にも言及し、「府としてできる政策は多い。学びながら具

体化していきたい」と述べました。さらに、保育・介護・障害福祉分野の深刻な人手不足を指摘。とりわけ保育現場について「ちょっと待ってね」と言わなくては保育を実現したい」と語り、1歳児の保育師配置基準を国基準の倍に引き上げるなど、人員配置の改善を具体的な政策として検討することを明らかにしました。こうした政策に込め、京都総評として藤井さんを知事に押し上げるために広く推薦支援の和を広げようと呼びかけます。

# ライドシェア解禁の危険性 白タク 京都で一点共闘の取り組み



毎月の京都駅前での共同宣伝

## 自民・維新 世界の動きに逆行する 規制緩和策動

いま、国民の移動の不足を口実に、海外発祥の「ライドシェア」(いわゆる白タク)を日本に普及させようとする危険な動きが進んでいます。ライドシェアはアプリで自家用車のドライバーと

利用者をマッチングするサービスですが、タクシに義務付けられている安心・安全のルールがありません。そのため、事故時に十分な補償が受けられないなどのリスクがあります。海外では強盗や性暴力などの事件も多発し、規制強化や禁止に踏み切る国・地域も増えています。日本のタクシは、深夜でも女性や子どもが一人で安心して利用できる世界に誇れる地域公共交通であり、乗客の安全を保障できる事業者かどうかを厳格に審査・監督することが不可欠です。ところが政府・内閣府は、規制改革推進会議のワーキング・グループに推進派を集め、全面解禁につなげる策動を強めてきました。日本維新の会は25年4月11日(ライドシェア事業に係る制度の導入に関する法律案)を提出し、移動需要への対応や自由な働き方を掲げて業務委託を前面に。さらに、地域・期間・営業区域・台数の制限を設けず、参入要件の緩和や変動運

賃(ダイナミックプライシング)の必要性を列挙しましたが、衆議院解散で廃案となりました。この動きに危機感を持った仲間たちは「ライドシェアの全面解禁阻止」を一点共闘のスローガンに、京都個人タクシ団体協議会(昌栄会)、市団体協議会(昌栄会)、市個人、互助、乗友)とともに行動しています。ナショナルセンターの違いを超えて、全自交京都地連(連合京都加盟)、自交総連京都地連(京都総評加盟)、京都総評の仲間も毎回参加し、月一回、J.R.京都駅丸口や四條烏丸、京都市役所前などで危険性を市民に訴えてきました。さらに、京都市長や市議会への陳情など、できる行動はすべてやり切ろうと確認し、力を合わせて取り組んでいます。

### ゴルフで対話弾み 交流深まる

全国一般&京都総評 林 眞也

前の職場に入社したことをきっかけにゴルフを始めましたが、数年前からはクラブを握る機会もなくなっていました。労働委員になり、ゴルフをされる方がいることから再開しました。まだ思うようなスコアは出せず下手さを痛感していますが、1日一緒にプレーする中で様々な話ができ、交流を深められる経験になっています。

現在は先輩から譲っていた古いクラブを使っていたり、そろそろ自分のクラブを購入しようと考えています。

**あなたの「推し」教えて!**

趣味やマイブーム、推し活の紹介をしていただける方を募集します。名前・所属と合わせて、画像、タイトル、100~200字程度であなたの推し活をアピールしてください。掲載された方には図書カードを贈呈します。応募はこちらまで▲

